

第二〇回KDK開拓伝道セミナーの報告

二〇一七年四月二四日(月)～二五日(火)
会場・国立オリンピック記念青少年総合センター

KDKでは、開拓伝道者および開拓に関わる働きをしておられる方々とともに、「開拓伝道セミナー」を隔年で開催しています。第二〇回の節目となった今回は、二年前の前回と同じ「教会を建て上げる」を主題とし、三回の講演を「開拓伝道者の人格形成」と題して、日本バプテスタ連合・玉川キリスト教会牧師の福井誠師に担当していただきました。

初日午後二時からの開会礼拝では、KDK委員の村上宣道師が使徒の働き十二・四～一〇から、「教会は熱心に祈った。しかし、門を開きペテロを救出してくださったのは主である。それゆえ、人の能力や目に見えるものに頼るのではなく、開いてくださる主に頼るところこそ開拓伝道者に求められている。」と熱く語られました。



続いて、福井師による第一回目の講演「開拓者のための聖書的基础」が行われました。旧約聖書のリーダーたちはそれぞれ弱さや欠点

を持っていた。しかし神はご自身の目的を達成するために彼らを用いられた。教会を建て上げるのは、神のお働き。神はパウロを通してテモテやテトスの開拓をサポートされた。

開拓においては、伝道者自身が整えられて行くことが何よりも必要。開拓伝道者が「神との良き時」を過ごすことによって、自身と群れが養われ、教会は徐々にではあっても確実に成長していく。福井師自身、早朝のデブション「神との良き時」で受けた恵みを、毎日ブログで信徒に配信して分かち合っている。十年來欠かすことなく続けられているこのことが教会形成の基礎となっている、と語られました。

夕食後には「リーダーシップのための聖書的基础」と題する福井師の第二回目の講演が行われました。ここでも聖書の示す原理、とくにキリストが示された再生産のモデル(求道者↓新しい信仰者↓成長している弟子↓弟子を育てる人のサイクル)が与えられていることの大切さが具体的な例をもって語られました。また、リーダー自身が聖書的な信仰によって聖書的価値観を身に着けるなら、それが聖書的な行動を生み出し、教会の健康的な成長につながって行くことが示されました。

二日目は、KDKの支援母体であるホワイトフイールズ代表のステイブ・ウィラー師のバイブルメッセージをもってスタートしました。その後、現在KDKの支援を受けて開拓伝道に携わっておられる4人の先生方にそ

れぞれのお働きの内容、祈りの課題、証しを語っていただきました。ご自身や家族の健康問題、子どものいじめと不登校といったこの社会が抱えている様々な課題の影響を受けながら、置かれた地で忠実に主を宣べ伝えている姿に励まされた同労者は少なくないと思います。

福井先生による3回目の講演は「自己管理と成熟のための聖書的基础」と題してIIテモテから語られました。一章から「牧会者の自己管理」、二～四章から「牧会者の成熟」について学びましたが、おもに牧会者自身の情緒的な面における成熟の大切さが強調されていました。最後に、ピーター・スキヤゼロ著「情緒的に健康な教会をめざして」から、伝道者が自分自身に当てはめ、会衆に適用する6つの原則が紹介されました。①水面下を見る。②過去の力を打ち破る。③弱さを抱えたまま生きる。④限界と言う賜物を受け入れる。⑤喪失と悲しみを受け入れる。⑥キリストの受肉を模範として人を深く愛する。

閉会礼拝は、KDK委員の板倉邦雄師がご自身の開拓の経験をもとに励ましのメッセージを語られました。

最後になりましたが、今回もベック・由美子さんと高菜美香さんによる賛美リードが、主のご臨在と、主への期待を高めてくださったことを覚えます。

嵐 時雄 (KDK委員)